



氏名 M.K
所属 文学部 言語文化学科
学年 4年

留学先 語学研修 (シェフィールド大学)
留学期間 2024/8/12~2024/8/31

留学レポート Study Abroad Report

私は3週間の間、イギリスのシェフィールド大学での語学研修に参加しました。私がこのプログラムを選んだ理由は英語能力を向上させるため、また英語圏やヨーロッパの文化を肌で感じてみたかったからです。ずっと憧れていた留学にコロナや就職活動など様々な理由でチャレンジできていませんでしたが、最後のチャンスだと思い応募しました。このレポートが留学を検討する方の参考になれば嬉しいです。

【イギリスの気候について】

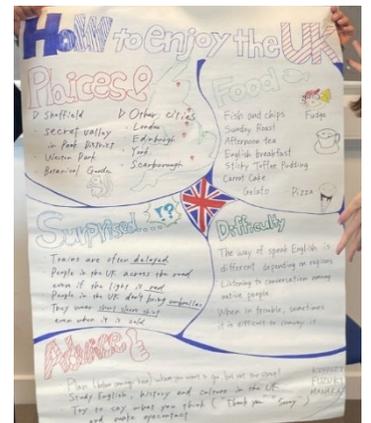
私が3週間滞在したシェフィールドはイングランド中部、ロンドンよりも北に位置する地域です。8月でしたが日本でいう秋のような気候で、平均最高気温は20℃くらいだったと思います。過ごしやすい気候ですが、朝晩は15℃くらいまで下がるので肌寒く感じられました。夏なので半袖ばかり持って行ったのですが、実際は長袖+カーディガンを着ていた日が多かったです。長袖を多め、半袖を少し、あと羽織るものを持って行くのがおすすめです！

【授業について】

大学での授業は月~木曜日は90分の授業が3コマ、金曜日は2コマありました。午前中の授業(2コマ)はLanguage developmentという授業で、ゲームやディスカッションを通じて文法や語彙、イギリスの文化について学ぶことができました。午後の授業は4つから選択することができます。私はSocial Englishという授業を選択し、イギリスの文化について理解を深めることができました。授業を通して自身の英語の文法や語彙に関する知識を得ることができたことはもちろん、特に英語を聞く機会と話す機会が多かったことが英語能力を伸ばすことに繋がったと感じます。授業の中で自身から積極的に話すことでより多く英語能力を伸ばす機会を得ることができると思います。水曜日の午後の授業のみ、オンライン(リアルタイム)で行われます。

英語で行われる授業について行けるのか不安に思うかもしれませんが、初日にクラス分けテストが行われ、自分に合ったレベルの授業を受けることができるので大丈夫です。また入ったクラスが合わない場合には先生に相談してクラスを変更している友人もいました。課題も負担に感じることはなく、クラスメイトや先生との交流を毎日楽しみながら授業に参加していました。

写真は最後の授業で来年度のプログラムに参加する方のために友人と作ったポスターです。



【寮での生活について】

大学の授業を受ける建物から徒歩 10 分ほどの寮に住んでいました。右の写真のようにとっても広く、個人部屋や共用キッチンも綺麗で使いやすかったです。建物内にはコインランドリーがあり、洗濯と乾燥を 1 回約 1000 円くらいですることができます。私はできるだけお金を節約するため、可能な限り自室で手洗いをしたり友人と洗濯機をシェアしていました。また掃除に関してですが、3 週間過ごすので掃除用具を持って行くことをおすすめします。例えばシャワールームは髪が詰まったりトリートメント等のぬめりが残るため掃除用歯ブラシやスポンジを持って行って良かったと思いました。また部屋のフローリングにもホコリや落ちた髪がたまってしまおうので友人にガムテープをもらって掃除しました。近くの部屋には同じ大学の友人が住んでいたの助け合いながら生活できたのが心強かったです。1 度同じ大学の全員と一緒にカレーを作って食べたのが思い出に残っています！（右の写真）

イギリスは物価が高いので比較的安価な Lidl というスーパーで食材を買い自炊するのがおすすめです。また自炊の手助けになる + 日本食が恋しくなるという理由からパックご飯や味噌汁等を持って行くのを強くおすすめします。



【放課後・休日の過ごし方】

授業以外の時間は同じ大学の友人やプログラムを通じてできた中国、ウクライナ出身の友人と共に過ごしました。放課後は大学が用意してくれるアクティビティに参加したり近くに出かけたりしました。アクティビティに参加することで友人が増えたので参加して良かったと思います。また近くに自然が楽しめる公園やおしゃれなカフェ、本屋さんがありそこへ行ったことも楽しい思い出です。



↑ 教会



↑ Botanical Garden という公園/そこにいるリス



↓ 近くのカフェ



Osaka
Metropolitan
University

OMU Students 海外留学レポート



↑ サッカースタジアム



↑ 大学の図書館



また休日には大学のアクティビティとしてノッティンガムとヨークへの旅行に参加しました。他にもエディンバラ、スカボロー、プログラム前後にロンドンやパリ、ベルギーに旅行しました。イギリスには観光地がたくさんあり、折角の機会なので旅行することをおすすめします。どこに旅行しても美味しい料理や美しい景色をたくさん楽しめました！



↑ アフタヌーンティー



↑ フィッシュ&チップス



↑ パイ



↑ ロンドンバス



↑ テムズ川・ロンドンアイ



↑ クリスマスショップ





OMU Students 海外留学レポート

↑ロンドンのミュージカル

↑スカボローの海

【留学を通して学んだこと】

今回の語学留学で多くのことを学びました。授業の中で教科書を使って学ぶ英語の文法や語彙に加えて、お店や旅行先でよく使われるフレーズを実際に聞いて使えるようになったときは本当に嬉しい気持ちになりました。またネイティブの方が話す英語は早く聞き取れないことも多く初めのうちは落ち込むこともありましたが、文脈や場面に応じて1部聞き取れたり、それに答えることができたりすると英語での会話を楽しむことが出来るようになっていきました。ネイティブの方も私の拙い英語を聞き取ろうとしてくれるのでコミュニケーションの中で最も大事なことは理解しよう・伝えようとする前向きな気持ちなのだと分かりました。

また語学の面以外でも案外1人で何でもできる！と学び自信がつかしました。渡航前の私は、観光の際には1人だと寂しく友人や家族と感動を共有したいという理由から1人で旅行したことはありませんでした。しかし1人で移動や観光をする時間があり、不安もありましたが交通機関の乗り方が分からないときや目的地への行き方が分からない時は現地の方に聞いて助けてもらいました。やはり友人というより1人であるほうが話しかけられる確率は高く、現地の方と英語で交流するかけがえのない経験だったと感じます。私がスーツケースを持って階段を降りたり電車の荷台に大きい荷物を乗せていると、周りの方が大丈夫？と話しかけてくれてスマートに荷物を持ってくれたり、待っていたバスがキャンセルになり困っていると私の目的地への行き方をスマホで調べて見せてくれた方がいたりと親切な方が本当に多い印象です。今回の経験を通して、1人で行動することでかけがえのない出会いや経験が得られることに気付きました。

多くの学びや経験はもちろん、日本人や中国、韓国、ウクライナ、モロッコなどの国出身の友人との出会いが得られたことが私にとっての宝物です。心からこのプログラムに参加して良かったと思います。

私が留学に憧れたきっかけは私の知らない広い世界をこの目で見てみたい！と小学生の時に思ったことで、そこから英語学習の意欲が高まりいつか留学をしたいと思うようになりました。ずっと叶えられずにいましたが、今回叶えることができ人生の中で最も濃い1ヶ月になりました。学んだことは多くありましたが同時に自身の他の地域の文化に対する知識や英語能力の未熟さに気付き学習意欲がより高まりました。家族はもちろん、サポートして下さった大学の担当の方、助けてくれた友人や現地の方々に感謝しています。